

平成30年度（公財）J K A補助事業の成果及び自己評価結果の公表

補助事業名 平成30年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業

補助事業者名 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

北海道立総合研究機構工業試験場における試験機器の整備を推進し、試験研究機能や技術支援機能の強化を図ることにより、道内中小企業等の技術力向上を支援し、機械工業の振興、新産業の創出に貢献します。

(2) 実施内容

揮発性化合物、ガス、熱分解した高分子材料などの成分を高精度に分析できる熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置を導入しました。

2 予想される事業実施効果

各種材料、製品等への混入異物、不純物、熱分解ガスなどの分析精度の向上による、製品の品質や信頼性、安全性の向上に関する技術支援の充実、高精度な分析データの活用による研究開発の高度化が促進され、道内の自動車関連などのものづくり産業、エネルギー関連産業、食品産業の振興に大きく貢献すると予想されます。

3 本事業により導入した設備

①熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置

<http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/gijyutu/setsubi/facility/18/gasukuromatogurafu.pdf>

気体や揮発性の試料に含まれる化学物質の分析、種類や量を調べる装置で、プラスチックやゴム等の不揮発性物質についても熱分解によりガス化し、その成分を分析することができます。熱分解炉では、ヘリウムのほか空気などの雰囲気ガスを使用できるため、様々な環境を想定した熱分解生成物の分析が可能です。



熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置

設置場所：【地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場】

②本事業に係る印刷物等

北工試だより ～道総研工業試験場メールマガジン～ H30/12/06 Vol.18.10 No.134

(<http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/magazine/back/181206.html>)

◆ H30/12/6 Vol.18.10 No.134 ◆

■ □ ■ 北工試だより ～道総研工業試験場メールマガジン～ ■ □ ■

平成30年も残り1ヶ月を切りました。
今年は工業試験場にとっても北海道胆振東部地震の影響による設備等への被害など色々なことがありました。ご使用のみなさまにご不便もおかけしましたが、現在は一部の機器を除き復旧しております。また一方で工業試験場では新たに道内食品加工メーカーに対するロボット導入を支援するための“食品ロボット実証ラボ（ROBO LABO）”を11月20日より開設しております。みなさまのご利用をお待ちしています。

☆☆☆☆☆☆ 目 次 ☆☆☆☆☆

【1】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介！
【2】『デジタルエンジニアリングによる設計・解析技術紹介セミナー～第13回北海道CAE利用技術研究会～』講演会のご案内！
【3】相談事例のご紹介！（製品関連技術の開発）！

【1】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介！

公益財団法人JKAの平成30年度機械工業振興補助事業により、熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置が導入されました。皆様のご利用をお待ちしています。

▼熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置
[構成] ガスクロマトグラフ質量分析計：日本電子(株)製 JMS-Q1500GC
熱分解装置：フロンティア・ラボ(株)製 EGA/PY-3030D
[機能・特徴]
・気体や燃料油・溶剤等の揮発性の試料に含まれる化学物質の分析
・プラスチックやゴム等の不揮発性物質についても熱分解(最高1050℃)によりガス化し、その成分を分析することが可能
・熱分解炉においてヘリウムのほか空気などの雰囲気ガスを使用できるため、様々な環境を想定した熱分解生成物の分析が可能
[ご利用案内]
・依頼試験 ガスクロマトグラフ質量分析
・設備使用 ガスクロマトグラフ質量分析装置

▼JKA補助事業設備紹介
<http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/JKA/index.html>

【2】『デジタルエンジニアリングによる設計・解析技術紹介セミナー～第13回北海道CAE利用技術研究会～』講演会のご案内！

メールマガジン 北工試だより H30.12.6配信

4 補助事業の自己評価

北海道経済の持続的な発展にとって重要である自動車関連などのものづくり産業、エネルギー関連産業、食品産業の競争力向上のためには、製品の品質や信頼性、安全性を高める取組が不可欠であり、各種材料や混入異物、不純物などを精度良く分析し、製品開発や製造工程の改善などにつなげていくことが重要となっています。

本事業により、揮発性化合物、ガス、熱分解した高分子材料などの成分分析を行うことができる装置を導入することができ、製品の品質や信頼性、安全性の向上に取り組む道内中小企業を支援する体制の充実を図ることができました。

【総合評価点】4 全体として比較的高いレベルの事業であった。

(参考)平成30年度JKA補助事業「自己評価スコアリングガイド」

総合評価	5	全体として極めて高いレベルの事業であった。
	4	全体として比較的高いレベルの事業であった。
	3	一部に不十分な水準の内容があり、今後の課題となるが、全体としてはほぼ問題のないレベルの事業であった。
	2	全体として不十分なレベルの事業であり、いくつもの課題が残った。
	1	全体として極めて不十分なレベルの事業であり、根本的な見直しが必要である。